

生涯学習課長の仕事宣言！ 進行管理表

生涯学習課長 佐藤敦美

①重点施策項目名	留守家庭児童の居場所づくりの充実を図ります
②目標値	放課後児童クラブ待機児童数 (H28) 通常期0人 長期0人 (H32) 通常期0人 長期0人
③今年度の取組方針	保護者の就労等により、自宅に保育する大人がいない児童に対し、放課後や土曜日、長期休業中などに、安心して過ごすことができるよう放課後児童健全育成事業（学童保育）の充実を図ります。そのために、運営団体を支援し、また民間事業者の放課後児童クラブ新設についても支援を行うことで、放課後児童クラブの環境整備、質の向上を図りつつ、児童の利用人数の拡大を図ります。
④上半期の取組内容	放課後児童クラブについては、市内8小学校において「なかよし会」を運営する鳥栖市放課後児童クラブ運営協議会と、旭小校区において「アフタースクールあいあい」を運営する社会福祉法人和貴福祉会に対し、補助金を交付しました。 また、特に利用希望が多い長期の対応として夏休み期間中に市内全校区の待機児童を対象とした放課後児童クラブ「夏休みなかよし会」の開設を支援し、待機児童の解消に努めました。
⑤下半期の取組内容	なかよし会の運営については、市の直営事業として実施し、今後事業移行のための制度整備を行うとの方針を決定しました。 田代地区に社会福祉法人健翔会が新設する「にじのひろば」の開設に向けて協力・支援を行いました。
⑥数値目標の結果	放課後児童クラブ待機児童数 通常期18人 長期97人（平成29年2月現在）
⑦成果と課題（次年度に向けて）	なかよし会については直営化に向け制度整備を行います。 待機児童解消を図るため、クラブ増設が可能となるよう支援員の確保に努め、また利用希望の多い夏休みは臨時開設での児童受け入れを行います。さらに民設の放課後児童クラブへの支援を行い、新規設置に向けても働きかけを行います。

◇所管部長の指示

上半期

学校の空き教室の利用が困難となっている状況の中、民間事業者の放課後児童クラブ新設についても支援を行い、放課後児童クラブの環境整備に努めるとともに、今後の効果的な放課後児童クラブのあり方について検討を行うこと。

下半期

市直営による方針決定に基づきスムーズな運営移行に向け、具体的な移行計画の策定を進めること。

生涯学習課長の仕事宣言！ 進行管理表

生涯学習課長 佐藤敦美

①重点施策項目名	文化財の保護を図ります
②目標値	伝統行事や民俗芸能の保存・継承に対する補助等の件数 〔H28〕 7件 〔H32〕 7件
③今年度の取組方針	本市の歴史や文化の成り立ちを理解する上で欠くことのできない市民共有の貴重な歴史的文化遺産である文化財を保護し、後世に伝えていくため、史跡等の保全管理、民俗芸能保存・継承に対する補助、歴史的文化遺産の調査・記録に取り組みます。 また、勝尾城筑紫氏遺跡の整備に向けて葛籠城跡地区の公有化を実施します。
④上半期の取組内容	国・県・市指定文化財を中心に史跡・民俗芸能等に対し、所有者や地元団体に委託あるいは補助金の交付を行い、これらの保存に努めました。 史跡等の保全管理については、下草刈りや雑木の伐採、あるいは案内板の点検等を行い、見学者の利便を図りました。 また、葛籠城跡地区の公有化事業の取り組みとして、対象地の地権者との買収交渉を進めました。
⑤下半期の取組内容	上半期に引き続き、民俗芸能に対し地元団体に補助金の交付を行い、その保存に努めました。 史跡等の保全管理についても、下草刈りや雑木の伐採、案内板の点検等を継続して行い、見学者の利便を図りました。 また、葛籠城跡地区の公有化については、平成28年度予定分は完了し、次年度対象地の地権者との買収交渉を進めました。
⑥数値目標の結果	伝統行事や民俗芸能の保存・継承に対する7件の補助等を計画通り進めました。 また、葛籠城跡地区の公有化事業は当初の計画通り 34,276 m ² を買収し、公有化進捗率は約81%となりました。
⑦成果と課題 (次年度に向けて)	文化財の保護全般について概ね計画通り進んでいます。 勝尾城筑紫氏遺跡の保存整備については、引き続き地権者の方の理解・協力を得るように努めていくとともに、次のステップである葛籠城跡地区の整備基本設計の準備を進めます。

◇所管部長の指示

上半期

国・県・市指定文化財等史跡・民俗芸能等に対しては、適切な保存に努めること。
また、葛籠城跡地区の公有化事業については、対象地の地権者との交渉を慎重に進めること。

下半期

公有化事業については、一定の進捗を見ており、今後の葛籠城跡地区の整備基本計画の策定準備を進めること。

生涯学習課長の仕事宣言！ 進行管理表

生涯学習課長 佐藤敦美

①重点施策項目名	文化財の積極的な活用を図ります
②目標値	展示会・見学会・講座等への参加者数（延べ） 〔H28〕 4, 000人 〔H32〕 5, 000人
③今年度の取組方針	市民が貴重な文化遺産を身近に感じる機会を提供するため、史跡等の公開、図書館常設展示の充実を図り、小中学校歴史学習等の積極的な支援を行います。 また、古文書講座や歴史講座等の開催や所蔵文化財の集約作業及び展示収蔵施設の整備を進め、郷土の豊かな歴史や文化財への関心を高め、鳥栖市民であることに誇りを持つことができるよう普及啓発に努めます。
④上半期の取組内容	勝尾城筑紫氏遺跡の見学会の開催、268号機関車の一般公開、市立図書館における文化財の常設展示、小中学校における総合的な学習の支援等を行い、広く郷土の歴史・文化や文化財の周知・理解に努めました。 文化財の常設展示は9月末までに3回の展示入替えを行い、展示に関連した講演会を図書館講座として実施しました。 また、市民を対象にした古文書講座、鳥栖のまちづくりと歴史・文化講座、及び「ふるさと元気塾」については、年間計画に沿って実施しました。
⑤下半期の取組内容	上半期に引き続き、268号機関車の一般公開、市立図書館における文化財の常設展示（2回の展示入替え）、市民を対象にした古文書講座、鳥栖のまちづくりと歴史・文化講座、「ふるさと元気塾」等を行い、広く郷土の歴史・文化や文化財の周知・理解に努めました。 また、所蔵文化財の整理を進め、文化財の活用施設「古野町文化財収蔵展示室」の整備を行いました。
⑥数値目標の結果	昨年同様に延べ約4, 000人程度の展示会・見学会・講座等への参加がありました。
⑦成果と課題（次年度に向けて）	各種の事業は概ね目標どおりに進展しましたが、市民を対象にした講座については、特に小中高生など若年層の参加を今以上に増やす取り組みを進めるとともに、小中学校に文化財を活用した学習活動支援についても積極的に働きかけていきたいと考えています。

◇所管部長の指示

上半期

計画的な講座の開催に努めるとともに、見学会、展示会等については参加しやすい方法について検討すること。

下半期

市立図書館における常設展示についてテーマに基づく展示の工夫やPR等の工夫を行うこと。